

桐生ならではの特色ある教育

産学官民の連携で世界に通じる人材育成を

絹織物産業や機械金属産業などの「ものづくり」のノウハウを持つ企業や、群馬大学理工学部・理工学府、地域の人と連携し、「桐生ならではの特色ある教育」に取り組んでいます。

今号では、その取り組みについてお知らせします。



サイエンスドクター 大学院生が理科の先生に

理科の学力向上と理科授業の充実、さらには、科学や理工学のおもしろさを伝え、将来の桐生の地域産業を支える人材育成を目的に群馬大学大学院理工学府の大学院生を「サイエンスドクター」として市立中学校全10校に派遣しています。

平成29年度は、14人のサイエンスドクターを、大規模校の清流・相生・新里中学校に各57回、中規模校の中央・境野・広沢・川内・桜木中学校に各37回、小規模校の梅田・黒保根中学校に各17回の、延べ390回派遣し、サイエンスドクターの専門性を生かした教材の開発、理科の授業支援、自由研究の指導助言、科学クラブの実施、サイエンスフェスタの開催などを行っています。問い合わせは、学校教育課教育支援係（☎内線688）へ。

理科の知識理解が向上

担当教員からは、「生徒の興味や関心が高まり、理科学習発表会の発表の質の向上や、理科の知識理解が深まった」などの声もあり、平成27年度には、清流中学校が「科学の甲子園ジュニア全国大会」に出場するなど大きな効果が出ています。



科学の甲子園 ジュニア全国大会に出場

「科学の甲子園ジュニア全国大会」は、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材の育成を目的に、全国の中学生が都道府県を代表して科学の思考や技能を競う大会です。

8月、9月に開催された全国大会の予選である群馬県大会では、清流中学校のチームが優勝し、準優勝した樹徳中学校チームとともに、各校3人の計6人が群馬県代表として全国大会に出場します。

清流中学校では、全国大会に向けて、サイエンスドクターによる特別講義を行います。特別講義は、全国大会出場者だけでなく、1年生の生徒も受講し、次年度の活躍にもつながるものです。

桐生を好きな子どもにも 織物体験で桐生を知る

織物体験を始めたきっかけは、市で開催した子ども議会です。

「桐生で育ち、桐生織のことは聞いているが、実際にどのようなように作られているのか分からないので体験したい」という要望を受け、「桐生を好きな子供」を育てる事業として平成26年から始まり、今年で4年目を迎えています。

市内小学校3年生以上の1学年（3年生15校、4年生2校）の児童と、中学校の特別支援学級の生徒を対象に、伝統産業である絹織物について、機織り体験と講話を通じて、その伝統と技術のすばらしさを感じ取ってもらい、ふるさと桐生について誇りを持ってもらいたいという願いが込められています。

問い合わせは、学校教育課教育支援係（☎内線683）へ。

桐生織の伝統と技術を体験

小学校では、桐生織物協同組合伝統工芸士会の工芸士が各学校に派遣され、実際の織物を見ながら様々な織り方の技法について学んだり、端切れをルーペで観察し、その技術の高さを実感しながら、織物の歴史について理解を深めます。機織り体験では、学校に運び込まれた手織り機を使い、伝統的な手織りを全員の児

童が体験します。また、織物参考館（紫ゆかり）（東四丁目）でも、織物の歴史や糸から織物までの過程を学び、藍染を実際に体験して、桐生の織物の歴史と技術を学習している小学校もあります。

市内の中学校の特別支援学級では、一人ひとりが持つ能力や可能性を最大限に伸ばし、自立や社会に参加するための「生きる力」の育成支援を目標に、工房「風花」（東久方町一丁目）の協力を得て、年2回の織物体験を行っています。

この体験を楽しみにしている生徒も多く、体験を重ねるうちに、織り方にも慣れ、丁寧に手早く作ることができるよう生徒もいます。

体験で制作した作品は、群馬県立桐生特別支援学校・桐生市立特別支援学級学習発表会で展示する予定です。

織物体験を通して

織物体験は子どもたちの心に強く残る体験です。また、織物体験を継続していくことで、桐生で育った子どもは、全員が手織りを体験します。

桐生織のすばらしさと伝統文化についての理解を深め、桐生織の伝統を守ることにつながればと期待しています。



①機織りの糸を継ぐために結び目が大きくなならないように結ぶ結び方の体験、②桐生織の歴史と織物の種類についての講義（ともに新里中央小学校3年生）
③藍染体験、④古代の織機見学（ともに相生小学校3年生）
⑤、⑥市内中学校特別支援学級の体験成果

未来創生塾



清流読書

産・官・学・民の連携で
世界をリードする人材育成を

未来創生塾は、群馬大学理工学部を核に、産・官・学・民が連携し、100年先の楽しい未来社会の構築を視野に「地域発、親子で学ぶ新しい教育のかたち」として誕生した教育プログラムです。

この地域の自然、歴史、文化、産業を生かして、子どもに発見の喜びと感動を与え感性を育み、世界をリードする人材の育成と楽しい未来社会の構築を視野に入れた取り組みです。

問い合わせは、未来創生委員会事務局（桐生商工会議所内、☎451201）または、生涯学習課社会教育係（☎内線651）へ。

親子で参加する教育プログラム

未来創生塾では、知識を覚える前に、体験を通して驚きや不思議さを肌で感じることで、謎を解きたいという気持ちが自然に生まれるように、子どもの五感を刺激するプログラムを組んでいます。また、子どもと一緒に参加する保護者にとっても、未知の扉を開く体験は新たな喜びとなり、家族間のコミュニケーションを豊かにする取り組みです。

基礎編と応用編

未来創生塾の活動は、基礎編と応用編に分かれています。基礎編は、市内各小学校が、学習



聴覚の世界

目標にかなった未来創生プログラムのメニューを選択し、授業に取り組みます。

応用編では、市内小学生とその保護者から希望者（9月末現在284人）を募り、未来創生塾メンバーとして、世界的に活躍する地元企業の見学や、国重要文化財を通しての歴史学習、タケノコ掘りの体験、企業と合同のごみ拾い、ヤマメの稚魚放流、清流読書など楽しみながら感性と知識を育んでいます。

これらの様々なメニューを継続的に実施することで、地元を誇りを持ち、世界をリードする感性豊かな人材が着実に増えていくことに期待しています。

桐生の良さを学び、桐生を愛する心を育み、桐生の次代を担う人材育成に取り組む未来創生塾を引き続き支援します。

放課後子供教室 桐生キッズカレッジ



たこづくり・たこあげ教室

安全・安心な活動拠点づくり

地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため放課後子供教室「桐生キッズカレッジ」の開設に向けた取り組みを開始しました。

放課後子供教室は、放課後児童クラブとは異なり、地域の人も参画し、学習やスポーツ・文化活動、交流活動などの取り組みを放課後や休業日に行う事業で、今年度、試行的に実施しています。

問い合わせは、生涯学習課社会教育係（☎内線651）へ。

桐生にまつわる多様な体験で

桐生を好きな子どもに

平成29年度は、桐生を知る取り組みを中心に、5月から平成30年2月まで毎月1回、土曜日の午前9時10分から午後1時まで、中央公民館を活動拠点として10回実施します。

受講者は、市内の小学校に通学する児童を対象として、応募総数122人から抽選で選ばれた40人です。桐生を好きな子どもを育てる観点から、桐生にまつわる多様な体験を行っています。

受講料は無料ですが、傷害保険料や教材費、昼食材料費などの実費は本人負担です。

地域の人との交流で 社会性のある子どもに

協力団体として、日頃から各地域

で子どもたちを見守り、育んでいる生涯学習桐生市民の会や婦人会、KLC（桐生市子ども会リーダーズクラブ）の皆さんが支援ボランティアとして活躍しています。

世代を超えて、様々な体験活動や交流活動、昼食作りや会食を行うことで、子どもの社会性や規範意識、自主性、創造性を育むとともに、地域の教育力の向上を図り、学校に大きな負担がかかっている現状を是正するきっかけづくりになればと考えています。

今後は、今年度試行した成果と課題を踏まえ、徐々に地域へ広がっていく予定です。



桐生消防署のなぞを探る

地域の特色を生かして
国際理解に向けた取り組み



稲刈り交流（黒保根小学校・西町インターナショナルスクール）

日本と外国双方の国際理解

黒保根小・中学校は、世界25か国以上、約400人が在籍している東京都港区の西町インターナショナルスクールと平成6年に姉妹校の提携を結び、平成17年に桐生市と合併した以降も、地域の特色を生かして20年を超える交流が続けられています。

西町インターナショナルスクールで行うフードフェアへの参加や、授業体験など様々な国籍の児童と交流し、日本と外国双方の文化への理解を深めています。

問い合わせは、黒保根公民館（☎962501）へ。

西町インターナショナルスクールとの交流

黒保根小学校では、地域のボランティアである学校支援隊や、農業支



夏休み英会話教室（黒保根中学校）



放課後英会話レッスン（黒保根小学校）



英語に親しむ（黒保根保育園）

援隊の協力を得て、田植え、稲刈り、餅つきなど米作りを通して交流を行っています。

黒保根中学校では、西町インターナショナルスクールの生徒宅へのホームステイや、黒保根中学校での授業交流など生きた英語を使いながら積極的な交流が図られています。

語学学習で積極的な交流を

西町インターナショナルスクールとの交流や、小学校の外国語活動への取り組みを踏まえ、黒保根保育園、黒保根小・中学校では、英語に親しむ様々な活動を通じてコミュニケーション能力を養う「国際理解教育」を推進しています。

保育園では、歌やミニゲームで英会話講師と触れ合う活動を行い、小・中学校では、英会話講師の学校行事への参加、夏休みや放課後の英会話レッスンを行っています。